

鹿児島地本だより

第44号
(令和4年 新年号)

発行元
自衛隊
鹿児島地方協力本部

印刷所
南日本出版株式会社



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 赤岩 英明

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこ

ととお慶び申し上げます。昨年中は、当本部の各種業務に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスの影響で皆様とかなかなか交流できませんでしたが、この場をお借りして昨年の当本部の活動の概要についてご紹介させていただきます。

まず募集広報業務ですが、コンビニへのポスター掲示を増加させる等、工夫改善ができた部分もあります。鹿児島地本最大のイベント「自衛隊みなと祭り」を、参加規模を大幅に縮小した「艦艇特別公開」に切り替え、学校における説明会もその一部をWEBで実施するなど、新型コロナウイルス

の影響で制約を受ける場面が多くありました。一方、非接触型の活動としてSNSに力を入れて情報発信したところ、新聞やラジオ等で紹介されたこともあり、全国の地本の中でのフォロワー数はTwitterで4

番目の多々、Instagramにたつては最多になりました(11月末現在。鹿児島地本調べ)。このような募集広報活動の成果は「志願者数」として表れますが、私の思い描いたような数字に届かなかった募集種目も一部あったものの、皆様のご協力もあり一定数の志願者を募ることができました。

就職支援業務は、合同企業説明会をはじめ、各種施策をほぼ計画通りに実施でき、順調に進捗しました。予備自衛官等の業務も、鹿児島地本広報大使の中島身依さんや九州・沖縄では初めて遺体衛生保全士(工

ンバーマー)資格を保有している方を予備自衛官補として採用する等、概ね計画通りに進捗しました。また、同じく広報大使で予備自衛官の岩元みささんが6月に令和2年度西部方面隊優秀隊員として顕彰されました。

このように、昨年は新型コロナウイルスの影響を受けつつも、それなりの成果を収めることができた一年でした。今年も引き続き県民と自衛隊の架け橋となるべく、工夫を凝らしつつ誠心誠意を尽くして各種業務を実施して参りますので、引き続き皆様のご協力、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、自衛隊の皆様は、新型コロナウイルスの大規模接種会場の運営、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の支援、豪雨・豪雪等の自然災害発生時の災害派遣など、広範多岐にわたる任務に迅速かつ的確に取り組

んでいただきました。また、日本周辺の安全保障環境が一段と厳しさを増す中、国の防衛のため、日夜切れ目なく尽力されております。本県でも、新型コロナウイルス感染症患者を含む離島からの急患搬送、7月豪雨時の県及び市町村へのリエゾン派遣や鶴田ダム緊急放流に備えた人命救助準備、防災訓練等への参加と県の危機管理防災行政の推進に大きく貢献いただいております。自衛隊の活動は、県民の生命、財産を守る上でますます重要になっております。

このような中、鹿児島県からも毎年多くの若者が自衛隊を志して入隊し、国内はもとより世界各地で活躍する姿に接し、大変心強く感じております。自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様には、引き続き、県民と自衛隊の架け橋となり、県の危機管理行政及び地域コミュニティの維持・活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の早期の収束と新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに鹿児島県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



新年のご挨拶

鹿児島県防衛協会
会長 塩田 康一

新年明けましておめでとうございます。

自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに鹿児島県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

自衛隊鹿児島地方協力本部におかれましては、昭和29年7月に設立されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や就職支援活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携に御尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

このような中、鹿児島県からも毎年多くの若者が自衛隊を志して入隊し、国内はもとより世界各地で活躍する姿に接し、大変心強く感じております。自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様には、引き続き、県民と自衛隊の架け橋となり、県の危機管理行政及び地域コミュニティの維持・活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の早期の収束と新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに鹿児島県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会
会長 谷川 洋造

新年明けましておめでとうございます。自衛隊鹿児島地方協力本部後援会の皆様をはじめ、自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様並びに防衛協力諸団体の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会に対しまして、各関係機関・団体の皆様から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。自衛隊鹿児島地方協力本部におかれましては、赤岩本部長を核心に部員一丸となつて、任務達成に邁進され、更なる飛躍と発展を揺るぎないものとしてこられました。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、北朝鮮は、わが国を射程に収めた新型ミサイルの開発・発射実験を繰り返すなど、ミサイルの能力向上を図っており、わが国はもとより国際社会に対して重大かつ差し迫った脅威となつております。また、中国は、依然として尖閣諸島周辺及び南シナ海において、力を背景とした一方的な現状変更の試みを執拗に継続し、重大な事態へと急速に発展するリスクを抱えています。このよう

な状況下において、わが国では、「自由で開かれたインド太平洋」というビジョンのもとで関係各国と多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進しており、その取り組みを期待しております。また、新型コロナウイルス感染症との戦いは予断を許さない状況です。このような中、自衛隊鹿児島地方協力本部は、将来の国防を担う自衛官の募集・採用、退職予定隊員の就職の援助、予備自衛官等の管理、各種広報活動等の任務を各自治体等をはじめ関係諸団体のご協力のもと強力に推進しており、後援会におきましても、鹿児島地方協力本部の部員と一体となつて、国家の平和と国民の安全・安心を願う県民の皆様のご期待に沿うべく、なお一層努力して参る所存であります。

最後にになりましたが、一刻も早い新型コロナウイルスの終息と経済活動の回復を願うとともに、自衛隊鹿児島地方協力本部の益々のご発展と部員及びご家族の皆様、後援会会員及び防衛協力諸団体の皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、新年の挨拶といたします。

※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。



新年のご挨拶

公益社団法人鹿児島県隊友会
会長 宮口 修二

新年明けましておめでとうございます。鹿児島県地方協力本部の皆様、家族会の皆様、後援会の皆様におかれましては、コロナ禍の中においてもご健勝にて新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。地方協力本部の皆様には県隊友会本部はじめ、県内各地で活動いたします各支部が何かとご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

地方協力本部におかれましては、入隊適齢人口の減少、高学歴化の情勢に経済の低迷や広報活動を困難にしているコロナ禍が加わり極めて複雑で厳しい募集・援護環境の中、赤岩本部長の御統率のもと総力を挙げて任務に邁進されてお

られますことに心から敬意を表します。

さて、我が自衛隊は南西諸島や朝鮮半島正面の不安定要因にしっかりと対処するための厳しい訓練の中においても頻発する自然災害やコロナ禍への災害派遣任務を訓練の成果を発揮して立派に完遂しています。彼らを激励応援し真姿を国民にしっかりと広報して、人的基盤を確保するため私たち隊友会も地方協力本部と連携し「国民と自衛隊の架け橋」として活動してまいります。

厳しい募集・援護環境ではありますが、鹿児島地方協力本部の更なるご発展ご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。



新年のご挨拶

公益社団法人自衛隊家族会
鹿児島県自衛隊家族会
会長 伊藤 正夫

新年あけましておめでとうございます。自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

コロナ感染症は減少に向かつてはいま

すが未だ落ち着きを取り戻していません。本年度も気を抜くことなく鹿児島地方協力本部の事業の一つである各種行事・イベント等による広報活動最大の目的であります募集活動など、家族支援等についても色々課題がありますが、赤岩英明本部長を中心に自衛官の皆様方のより一層の努力と知恵を絞り一人でも多くの自衛官を募集し家族支援活動が出来ますよう、鹿児島県自衛隊家族会は各募集所と情報提供等の連携により隊員の皆様に最も身近な存在として一丸となって支援してまいります。どうぞ目標に向かって邁進されてください。どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、自衛隊は温暖化など異常気象により益々多くなる災害派遣の要請

に対し、任務完遂という強い責任感のもと、日頃から訓練の成果を発揮することで被災者の方々に助け、多くの国民の負担に応えるべく昼夜励んでおられます。また、働き方改革においては、女性の活躍推進のために女性自衛官の採用登用によりパランスに取れた自衛隊に取り組み、また、第一種感染症指定医療機関の指定となった自衛隊中央病院及び防衛医科大学病院、2020年オンラインピック東京大会で活躍した自衛隊体育学校などこれらの活躍は、自衛隊への理解と信頼をより一層深めるとともに、隊員に誇りと自信を更に与える事と思えます。これからも、益々高まる国民の信頼と期待にしっかりと応えていかれるものと確信しております。

結び、鹿児島地方協力本部及び自衛隊員の皆様並びに隊員のご家族の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

に、任務完遂という強い責任感のもと、日頃から訓練の成果を発揮することで被災者の方々に助け、多くの国民の負担に応えるべく昼夜励んでおられます。また、働き方改革においては、女性の活躍推進のために女性自衛官の採用登用によりパランスに取れた自衛隊に取り組み、また、第一種感染症指定医療機関の指定となった自衛隊中央病院及び防衛医科大学病院、2020年オンラインピック東京大会で活躍した自衛隊体育学校などこれらの活躍は、自衛隊への理解と信頼をより一層深めるとともに、隊員に誇りと自信を更に与える事と思えます。これからも、益々高まる国民の信頼と期待にしっかりと応えていかれるものと確信しております。

結び、鹿児島地方協力本部及び自衛隊員の皆様並びに隊員のご家族の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。



県知事表敬



母校訪問



県知事表敬後の取材対応

東京五輪に近代五種で出場した岩元勝平3等陸曹が10月7日(木)に故郷の鹿児島に帰省しました。鹿児島県知事、鹿児島市長、母校の鹿児島実業高校を表敬しました。



トークイベントの様子



鹿児島地本で記念撮影



県知事表敬

東京五輪に出場し柔道女子78キログラム級金メダルを獲得した濱田尚里1等陸尉が11月18日(木)鹿児島県知事、霧島市長、母校の鹿児島南高校等を表敬し、11月19日(金)イオンタウン始良でトークイベントが行われました。

濱田1尉&岩元3曹 感動をありがとう!

令和3年度

感謝状贈呈

防衛省・自衛隊に対してご支援を頂いた左記の方に感謝状を贈呈いたしました。(敬称略)

防衛大臣感謝状
(募集功労)
鹿児島県立 鹿屋高等学校

(予備自衛官等雇用功労)
株式会社即応開発
株式会社野川重機

陸上幕僚長感謝状
(就職援護功労)
日本通運株式会社鹿児島支店

(募集功労)
学校法人前田学園 鹿屋中央高等学校
鹿児島県立 鹿屋工業高等学校
鹿児島県立 喜界高等学校
鹿児島県立 錦江湾高等学校
鹿児島県立 開陽高等学校
鹿児島県立 川内商工高等学校
山下 ルミ子 枕崎市自衛官募集相談員
立石 和輝(南種子町役場総務課職員)
安田 英次郎(喜界町家族会会長)
田原 恵理香(特別養護老人ホーム奄美の園職員)
泊ヶ山 浩平(曾於市役所財部支所地域振興課職員)
福田 光宏(天城町企画財政課職員)
和佐 秀一(志布志市役所有明支所総務課職員)
宝地 伸也(志布志市役所松山支所総務市民課職員)
窪田 光子(TODAアイゼミナール塾経営者)

海上幕僚長感謝状
(一般功労)
河本 正男(志布志市商工会会長)

佐世保地方総監感謝状
(一般功労)
高取 紘子(鹿児島県自衛隊家族会)

本部長感謝状
(一般功労)
宮口 修一(鹿児島県隊友会会長)
市来 徹夫(鹿児島県郷友会会長)
迫田 昌(奄美海運株式会社代表取締役社長)

(就職援護功労)
一般財団法人霧島市施設管理公社
株式会社ホンダ鹿児島
鹿児島トヨタ自動車株式会社
学校法人川島学園
鹿児島県赤十字血液センター
株式会社南日本総合サービス
公益財団法人鹿児島県学校給食会
学校法人北薩学園認定こども園
あくね園
公益財団法人阿久根市美しい海のまちづくり公社

西部方面総監感謝状は、第66周年記念行事が延期となったため次号に掲載させていただきます。



募集相談員 マニュアル紹介!

もっと詳しく知りたい方は、気軽にお問い合わせください。



相談員
山下ルミ子氏監修

鹿児島地本では、募集相談員の方のためにマニュアルを準備しております。

他にもイベントの案内や情報提供をお願いしています。



曾於市財部町
前畑 洸一 募集相談員宅
ポスターやチラシの掲示



イベントのお手伝い

相談員がどんなことをするかという...

募集相談員とは、自衛隊の良き理解者であり、協力者として地域のネットワークを活用し、鹿児島地本の活動をサポートしてくれる存在です。



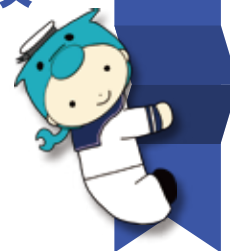
記念撮影



訓練の様子

「走る冒険家」岩元みささん 令和2年度方面隊優秀隊員に選抜

令和3年6月25日(金)に西部方面総監部にて、令和2年度方面優秀隊員等招待行事が行われ、岩元みささんが優秀隊員として顕彰されました。岩元みささんは、平成27年に予備自衛官補として採用され、平成29年には予備自衛官に任用されました。現在、即応予備自衛官になるための訓練に励んでいます。



岩元さんは鹿児島地本の
広報大使じゃっどく

広報企画室

特別公開(自衛隊みなと祭り)

例年実施している自衛隊みなと祭りは陸海空の装備品等と一緒に揃う鹿児島地本の一大イベントです。本年は新型コロナウイルスの蔓延により、入場者数を制限し事前予約制で特別公開という形で7月24日(土)25日(日)に鹿児島本港区北埠頭において艦艇の公開や装備品展示を実施しました。

鹿児島本港区北埠頭に入港可能な艦艇のうち最大級の輸送艦「しもきた」が入港し艦内や搭載しているエアクッション艇(LCAC)などを公開したほか、甲板上に車両などを上げるエレベーターで艦内を移動してもらうなど貴重な体験をして頂きました。その他にもペトリオット発射機や20mm対空機関砲I(改)、通称VADSや装輪装甲車など陸上・航空自衛隊の多彩な装備品を見学して頂くことができました。

新型コロナウイルス感染症対策として、見学時間に制限がある中、担当の隊員から詳しい説明を実施し、見学に訪れた方から「こんな大きな船は初めて見た。」「自衛隊の装備品がすごかった」との声が聞かれました。

コロナ禍で広報活動が制限され、各種イベントが中止となる中ですが、多くの方に自衛隊を理解してもらえるよう今後も可能な限り広報活動を実施していきたいと思っております。来年は盛大に自衛隊みなと祭りが開催できることを願っています。



装備品展示



艦艇特別公開

8月7日(土)、防衛大学校(以下、防大)に興味のある高校3年生を主体に保護者、高校1・2年生、予備校生など、計34名の受講希望者を対象に防大教授による模擬授業を実施しました。

本模擬授業は、昨年度に引き続き2回目の開催であり、防大と連携し実施しています。今年度は、地球海洋学科の菅原教授を招へいし、防大の概要説明に引き続き、「天気予報と気候変動」について模擬授業を実施していただきました。

受講者からは、「防大で色々なことが学べるのが理解でき、益々興味が沸きました。」「防大受験、頑張ります!」等の感想が聞かれました。

今回はコロナ禍であることを考慮し、離島(奄美大島、沖永良部島)からの受講者はリモート(Skype、LINE)で参加しました。

今後も徹底した顧客目線のもと、受験者から「信頼と安心」を獲得できる真摯な募集活動を継続していきます。



模擬授業の様子

募集課

目指せ!防衛大学校! 防大模擬授業 in 鹿児島

令和3年7月7日(水)、城山ホテル鹿児島において、2年ぶり(昨年度は7月豪雨及び台風で中止)に「令和3年度任期制隊員等合同企業説明会」を開催し、企業51社、隊員39名が参加しました。

本説明会は、鹿児島県内に就職を希望する任期制隊員等の就職援護を図ることを目的に、企業ブースを訪れた隊員に対し企業の概要、求人内容等の説明及び質疑応答を面談形式で行うものです。

参加した隊員からは、「就職したいと思った企業があった」、「企業からの指名による説明を聞き、希望していなかった業種に興味を湧いた」などの声が聞かれました。

また、参加企業から、「会社を知ってもらえる重要な機会となりました。できるだけ多くの隊員と面談ができる機会を作ってほしい」等の声が聞かれ「参加して良かった」との回答もいただきました。

本説明会が退職予定隊員にとって様々な情報を直接企業から聞くことができ、また企業にとっても退職予定隊員が在職中に培った知識と技術力などを知ってもらえる良い機会であると考え、今後も引き続き実施して就職援護業務を着実に推進する所存であります。



本部長あいさつ



面談の様子

援護課

鹿児島県任期制隊員等合同企業説明会



各所、センターの話題

再就職に向けて



国分援護センター

国分援護センターは、8月18日(水)19日(木)の2日間、国分駐屯地で行われた第2回任期制陸士就職補導教育を支援しました。再就職に向け、参加した7名の隊員は、面接要領やビジネスマナーの実習を受けました。

成長した姿に驚嘆



大隅地域事務所

8月5日(木)、今春陸上自衛隊高等工科大学に入校した宮崎学生が、母校である曾於市立末吉中学校を訪問し、母校に自衛隊をPRしました。先生方は成長した姿に驚かされていました。

臨時勤務隊員、活躍！！



鹿児島募集案内所

鹿児島募集案内所は、7月1日(木)～9月30日(木)の間、臨時勤務の藤田陽菜士長(空自第8航空団整備補給群所属)が学校説明会や艦艇広報を支援しました。募集対象者と年齢が近いこともあり、すぐに打ち解け多くの質問が飛び交いました。

BIG NEWS
鹿児島地本公式Twitter
フォロワー数
3万人突破！！

なんと！

あいがとさげました！
皆がみっくって、
これからもきばっど！

人事往来

【転出者】

- 自衛官
- 2等海尉 森田 正
- 佐伯基地分遣隊(奄美駐在員事務所長)
- 空曹長 下村 伸秋
- 第5航空団広報班(鹿児島援護センター)
- 2等海曹 鎌田 良太
- 第1整備補給隊(種子島駐在員事務所)
- 海曹長 池田 浩樹
- 第212教育航空隊(広報企画室)

【転入者】

- 自衛官
- 1等陸尉 野田 健吾
- 総務課(第15旅団司令部)
- 1等陸曹 橋 義昭
- 総務課(第361会計隊久留米派遣隊)
- 2等空曹 小山田 誠
- 鹿児島援護センター(第5航空団修理隊)
- 2等海尉 渡邊 繁樹
- 奄美駐在員事務所長(補給艦おうみ)

【定年退職者】

- 3.7.2 田川 浩司
- 退職時…准陸尉
- 3.11.30 武 謙二郎
- 退職時…陸曹長

鹿児島地本 HP

Twitter

Instagram

Facebook

本部	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920(代表)
事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本

お問い合わせ先

募集情報受付

あなたの周りに「自衛隊に興味がある」「自衛隊ってどんなところだろう」という方がいらっしゃいましたら、左の番号に連絡をください。自衛隊についてお話をさせていただきます。もちろん、読んでいるあなたが気になるなら直接、お電話を！お待ちしております。